

香川県 丸亀ひまわり保育園 ラーニングストーリー はじめの一步

第86号 2018年10月22日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カガヤ 奥山卓矢

ラーニングストーリーとは

香川県丸亀市に『見守る保育』を実践する、丸亀ひまわり保育園様があります。「丸亀城」を毎日のお散歩コースに、「考える力、創造する力を養う」をモットーに日々保育の実践がなされています。

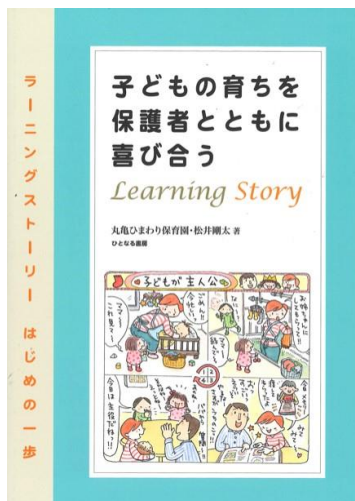
ちょうど、カガヤのクルーが丸亀ひまわりさんに伺った折に、1冊の本をご紹介して頂いたそうです。

それは、丸亀ひまわり保育園さんで5年間実践を続けて来られた「ラーニングストーリー」について、その軌跡をまとめられた本でした。

本書に「ラーニングストーリーとは、子どもがどんな経験をしてきて、どんなことが得意で、いまどんなことに夢中になっているかを写真と文章で記録し、保育園と家庭との間を往復する1冊のファイルです。」と紹介されていました。

また、園長の高橋先生は、「子どもの人数が増えたり、新しい保育者が入職する中で、『お母さんたちの思いに応えられているか?』『子どもの育ちを皆と共有したい!』『保護者に子どもたちの良さを知り、保育に参加して欲しい!』と思っていた時、香川大学の松井剛太氏と出会い『ラーニングストーリー』が始まった」と言います。

園内で、まずははじめてみよう!と先生たちが動き出すストーリーや疑問や悩み、そして保護者の方に実際にお渡しされた資料や保護者の声など、ありのままに参考になる資料が多く掲載されています。



丸亀ひまわり保育園・松井剛太著
ひとなる書房



丸亀ひまわり保育園HP

本を読み終えて思うこと

以前、東京の大学?で、丸亀ひまわり保育園さんが「ラーニングストーリー」の実践発表をすると、カグヤのクルーが参加したということがありました。

その時はまた聞きで、丸亀さんは「ラーニングストーリー」の実践をしているのだと思ったことがありました。

それから時が経ち、今回1冊の本となり、それを見て驚きました。実際に園には伺ったことはありませんが、時折カグヤのクルーからお聞きする丸亀ひまわり保育園さんの話。

まるで、親戚の子が「今度、甲子園出るよ!」と報告を受けたようで、嬉しく応援したくなるような気持ちが湧いてきました。

本の中に「余白こそ大事」「メモリーチャンス」「メモリースランプ」等の言葉が出てきます。

どれも先生方のオリジナルの言葉ですが、「メモリースランプに陥ったら子どもの姿に立ち返る」というシンプルな言葉は先生方の実践を励ます一言になっていたようです。

先生方が踏み出した一步は5年が経ち、今、本という形で多くの方に知ってもらえる機会になり、私も本書を手にとることが出来ました。

先生方の実践は、はじめの一步をどう歩み出したかについても書かれ保育を見直している方、見直そうと考えている方にも必見です。

この秋、一番お勧めしたい保育の実践本だと読み終えて感じました。

●過去のバックナンバー

第83号

楽健寺酵母パン

第84号

保育実践ブログ

第85号

サヌカイト

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。

 **caguya**

〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢